

(新) 市民参画型小水力発電推進事業 (エネ特)

400百万円 (0百万円)

地球環境局地球温暖化対策課

1. 事業の概要

温室効果ガスの25%削減、再生可能エネルギーの供給目標を達成するためには、再生可能エネルギー技術の一層の活用が必要。さらに経済と環境との両立により国際競争力を維持・向上させるとともに雇用を創出する新産業として育成を図る上でも重要。

小水力発電はCO₂排出量が少ないエネルギー源で、大規模な土地改変も伴わない開発が可能で、設置ポテンシャルが高い地点も多いが、維持管理体制の構築が課題の一つとなっており、市民参画がその解決手法になり得る。

このため、本事業では、運用段階の協力、市民の出資、寄付など、市民の参画を伴う小水力発電設備の設置を支援する。

2. 事業計画

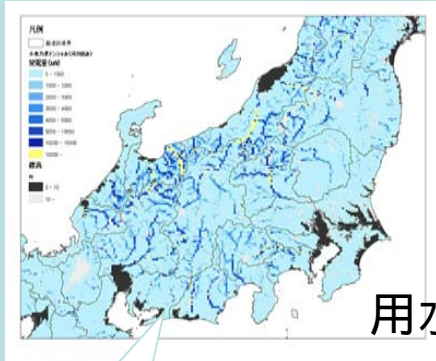
NPO等が地方公共団体と連携し、清掃等運用段階の協力、出資、寄付、環境学習での利活用など多様な形で小水力発電設備の設置に市民が参画する事業に対して、その設置に係る費用の1/2を補助することにより、全国での小水力発電の導入を促進する。

また、合わせて実際の発電量等のデータ収集・解析、導入効果の予測や手続き・技術面などの相談業務、地域における先進的な活動の情報発信を行うことにより、全国への波及を図る。

3. 施策の効果

本事業により、小水力発電システムの設置が進み、2020年に59万kW導入されたとすれば、200万t-CO₂/年の削減が可能。

(新)市民参画型小水力発電推進事業



用水路

小水力発電
全国ポテン
シャルマップ



小水力発電によ
る市民共同発電
実現可能性
調査



管路



運用段階の協力、出資、寄付など、市民の参画による小水力発電設備の設置費用の1/2以内を補助

市民

参画



設備整備
や活動を
支援

環境省

【効果】

- ・再生可能エネルギーの利用促進
59万kWの開発へ
この場合、200万t-CO2/年の削減
- ・市民の参画による温暖化対策の推進
- ・規格化、仕様の見直しによるコストダウン

関連施策への拡大

- ・自主参加型国内排出量取引制度(JVETS)の設備補助対象への追加
- ・エコツーリズムアドバイザーの派遣
- ・地方公共団体の施設における導入支援の拡充